

## 「仙台市障害を理由とする差別をなくし障害のある人もない人も共に暮らしやすいまちをつくる条例」施行後の取組み等について

### 1 相談体制の整備等

#### (1) 相談体制の拡充

- ①各区障害高齢課に差別に関する相談を含む総合相談に対応する相談員を配置（各1名、4/1～）
- ②仙台市障害者虐待防止・差別解消相談ダイヤル（24時間365日受付）での受付開始（4/1～）
- ③相談件数（平成29年3月末現在）

##### 【生活分野別】

（単位：件）

	福祉サービス	医療	商品・サービスの提供	教育	雇用	建物・公共交通機関	不動産の取引	情報提供・意思表示	その他	合計
相談ダイヤル・障害企画課等	4	1	6	0	5	4	1	4	2	27
各区障害者差別担当相談員	3	2	9	2	12	18	8	6	9	69
合計	7	3	15	2	17	22	9	10	11	96

※相談者が直接の対応を望まない相談、差別にはあたらないと思われる事案等も含む。

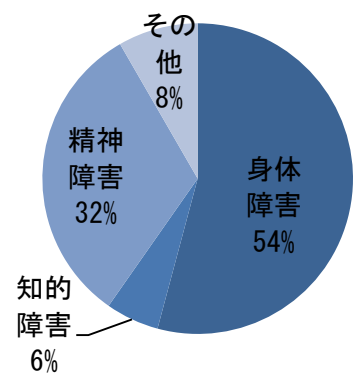
※相談ダイヤルで受け付け区が対応した場合などの重複は、対応した区でカウントした。

##### 【障害種別】

（単位：件）

	身体障害	知的障害	精神障害	その他・不明等	合計
相談ダイヤル・障害企画課等	13	1	9	4	27
各区障害者差別担当相談員	39	4	23	6	72
合計	52	5	32	10	99 (96)

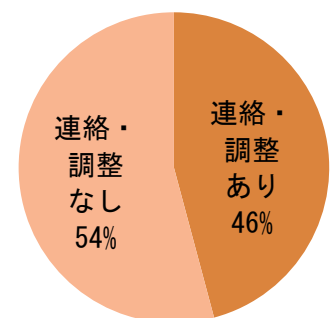
※障害種別の重複3件含む。合計の（ ）内の数字が実数。



##### 【相手方への対応状況】

（単位：件）

	連絡・調整あり	連絡・調整なし	合計
相談ダイヤル・障害企画課等	14	13	27
各区障害者差別担当相談員	30	39	69
合計	44	52	96



④相談内容等

相手方への連絡・調整ありの事案 44 件中、事実確認等の結果、障害を理由とする不当な差別的取扱いと考えられる事案は 7 件。

- ・盲導犬の受け入れ拒否（飲食店、タクシー、飲食店での寄席）
- ・視覚障害を理由にしたもの（スポーツジム、プールの教室、バス、食品づくり体験）

生活分野	相談の概要と対応結果等
商品・サービス提供	<p>《障害を理由とする不当な差別的取扱いと考えられる事案》</p> <p>【相談者】視覚障害当事者</p> <p>【相談経路】区障害高齢課相談員への相談</p> <p>【相談内容】</p> <p>スポーツクラブで、会員である同行援護者とともに一時利用をしたところ、視覚障害を理由に次回以降の利用を断られたので注意して欲しい。</p> <p>【事実確認・対応等】</p> <p>○事業者への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区障害高齢課の相談員より事実確認等を行った。事実確認での事業者の話として、会員利用の会則の「介助者がいなくても一人で利用できること」という項目に基づき断ったが、障害者差別解消法等についての知識がなかったことを確認。相談員より法律等の内容や具体の事例等を説明して理解を求め、利用に関する改善案や職員への研修について、相談員と検討していくこととなった。</li> </ul> <p>○相談者への報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談者に事業者への取り組み状況等を報告、事業者からも相談者本人への謝罪があったこと、事業者として改善に取り組むことに納得いただき終結。</li> </ul>
建物・公共交通機関	<p>《障害を理由とする不当な差別的取扱いと考えられる事案》</p> <p>【相談者】日本盲導犬協会仙台訓練センター職員</p> <p>【相談経路】日本盲導犬協会仙台訓練センター職員から障害企画課への情報提供</p> <p>【相談内容】</p> <p>市内 J R 駅のタクシー乗り場で補助犬を連れてのタクシー乗車を拒否された。日本盲導犬協会からタクシー事業者には連絡しているが、市としても事業者に連絡して欲しい。</p> <p>【事実確認・対応等】</p> <p>○タクシー事業者への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者に対して、区障害高齢課の相談員より事実確認等を行った。乗車拒否の事実を認め、謝罪している。法律・条例について改めて周知し、乗務員への改めての指導について要請した。本件については別な経路から運輸局にも連絡が入っており、事業者に対して運輸局の指導があったことも確認された。</li> </ul> <p>○日本盲導犬協会仙台訓練センターに対応状況について報告し終結。</p>

※相手方への連絡・調整なしの事案 52 件中、匿名で相手方の特定が困難、又は本人が連絡・調整を希望しないものが 9 件。その他、具体的な事案でないもの（障害に理解のある会社がなかなか見つからないなど）、制度の要望、内容的に差別にあらず事実確認を要しないと判断されるものなど。

## (2) 仙台市障害者差別相談調整委員会の設置

障害を理由とする差別に関する紛争の解決を図るため、条例第 20 条に基づき設置。

### ① 日程・内容

回	開催日	主な議題等
1	4月14日(木)	・委員長及び副委員長の選出 ・仙台市障害者差別相談調整委員会について

### ② 委員名簿(敬称略)

委員名	所属・職名	分野等
◎大坂 純	東北こども福祉専門学院副学院長	学識経験者
○佐藤 由紀子	仙台弁護士会	学識経験者
石野 勝美	宮城教育大学キャリアサポートセンター特任教授	教育
大瀧 正子	一般社団法人仙台市医師会理事	医療
小澤 好子	一般社団法人宮城県社会福祉士会	福祉
松前 ゆかり	宮城県社会保険労務士会理事	雇用
松本 隆一	宮城県聴覚障害者情報センター施設長	障害当事者

◎委員長、○副委員長

## (3) 仙台市障害者差別解消・虐待防止連絡協議会の設置

障害者の差別解消・虐待防止に関する相談対応等をはじめ、障害者の権利擁護に携わる関係機関のネットワークを構築し、相互に連携して障害者の支援を適切に進めるための体制づくりを図る。

### ① 日程・内容

開催日	主な議題等
12月20日(火)	・仙台市における各種取り組み等の状況 ・各機関における取り組み等の紹介

### ② 構成機関

分野	構成機関
権利擁護	仙台法務局(人権擁護部)、宮城県障害者権利擁護センター、人権擁護委員協議会
労働関係	宮城労働局(職業対策課、ハローワーク仙台)
当事者団体	仙台市障害者福祉協会、仙台市知的障害者関係団体連絡協議会、仙台市精神保健福祉団体連絡協議会、宮城県患者・家族団体連絡協議会
地域福祉	仙台市社会福祉協議会(まもりーぶ仙台)、民生委員児童委員協議会
教育関係	教育委員会(特別支援教育課)
障害福祉	各区障害高齢課、各総合支所保健福祉課、障害者総合支援センター、精神保健福祉総合センター、北部発達相談支援センター、南部発達相談支援センター、委託相談支援事業所

## 2. 普及啓発・理解促進等に関する主な取組み

### (1) 仙台国際ハーフマラソン「ココロン・ブース」の設置

日時・場所	内 容	来場者
5月8日(日) 宮城野原総合運動公園内	○障害者スポーツ・団体や各障害特性に関するパネルの展示 ○条例周知用チラシや事例集等の配布	119名

### (2) シンポジウム「ココロン・スポーツ☆スペシャル」の開催

日時	内 容 等	参加者
5月29日(日) せんだいメディアテーク 1階オープンスクエア	シンポジウム「障害とともに生き生きと生きる」 ① 基調講演 【講師】 仙台白百合女子大学教授 大坂 純 氏 ② パネルディスカッション 【コーディネーター】 大坂 純 氏 【パネリスト】 ウィルチェアーラグビー日本代表 庄子 健 選手 障害者陸上女子砲丸投げ世界記録保持者 加藤由希子 選手 知的障害者競泳エクアドル2015INAS グローバルゲームス銀メダリスト 山中 優輝 選手	60名

### (3) ワークショップ「ココロン・カフェ」の開催

日時	内 容 等	参加者
6月25日(土)	【テーマ】 「障害理解を広げるための取り組みについて考えよう」	42名
7月7日(木)	【会 場】 (6/25) 仙台市役所本庁舎 8階ホール (7/7) 仙台市福祉プラザ 1階プラザホール	58名
11月17日(木)	【テーマ】 「東京パラリンピックを盛り上げよう！」	25名
11月20日(日)	【会 場】 (11/17) 仙台市福祉プラザ 1階プラザホール (11/20) 仙台市役所本庁舎 8階ホール	39名
3月2日(木)	【テーマ】 「災害への備えを考えよう」	42名
3月5日(日)	【会 場】 (3/2) 仙台市福祉プラザ 1階プラザホール (3/5) 仙台市役所本庁舎 8階ホール	31名

### (4) 福祉まつり「ウエルフェア2016」

日時・場所	内 容	来場者
10月2日(日) 勾当台広場	啓発ブースの設置 (障害理解の啓発、パンフレット・事例集等配布、 ココロンバッジ作成)	150名
12月4日(日) 福祉プラザ2階 ふれあいホール	講演会「誰もが共に暮らしやすい地域づくりのために ～相談活動の実践から考える障害者差別解消とは～」 【講師】 朽名社会福祉士事務所代表 朽名 高子 氏	50名

### (5) 市民協働事業提案制度の活用

市民局が実施する「市民協働事業提案制度（テーマ設定型）」に「障害者差別解消・障害理解の促進に関する PR」のテーマを設定。公募により「表現活動を通じた交流や対話などにより障害理解の促進を図るプロジェクト『TOGETHER ACTION PROJECT (TAP)』」を採択し実施。

日時・場所	内容	来場者
12月16日(金) 市民活動サポートセンター	○オープンアトリエ第1回 「Dance Breaks Barriers!」 ～障害のある人もない人もダンスでコミュニケーション～	130名
12月17日(土) 市民活動サポートセンター	○トークセッション 障害のある人の表現活動の先駆的な取り組みの紹介や、地域の多様性や受容性の広まりへの期待をテーマに話し合う。 ○表現ワークショップ 身体表現、リズム表現、ボイス表現の体験	140名
1月～3月 市民活動サポートセンター	○オープンアトリエ ①打楽器 1月20日(金)、2月17日(金) ②アート 1月27日(金)、3月7日(火) ③ダンス 2月10日(金)	
2月4日(土)・25日(土) 市民活動サポートセンター	○表現ワークショップ ①身体表現 ②リズム表現 ③ボイス表現	
3月19日(日) せんだいメディアテーク	○TOGETHER ACTION DAY ワークショップの成果発表、記録映像の上映	

### (6) 若者による地域課題解決プログラム「仙台ミラソン 2016」へのテーマ提供

市民局が実施する若者による地域課題解決プログラム「仙台ミラソン 2016」の地域課題の一つとして障害理解の促進に関するテーマを提供。障害者との交流活動に取り組んだ。

日時	仙台ミラソン 2016 スケジュール
8月22日(月) ～24日(水)	地域課題解決ワークショップ テーマに基づくアイデアソン、フィールドワーク等
9月～12月	チームごとの活動（障害当事者との食事会、障害者スポーツの体験など）
2月15日(水)	最終発表会

### (7) 障害者差別解消等に関する研修会の開催

日時・場所	研修内容	参加者
8月24日(水) 仙台市役所本庁舎 8階ホール	雇用現場における障害者の権利擁護等に関する研修 【対象】 市内障害福祉サービス事業所運営事業者管理・監督者等 【講師】 宮城労働局職業対策課地方職業安定監察官 千葉 敏磨 氏 【テーマ】 「障害者雇用の現状と権利擁護について」 ～雇用の現場における障害者に対する差別や虐待について～	44名
11月25日(金) 障害者総合支援 センター 2階研修室1	障害者差別解消相談支援者向け研修 【対象】 障害者相談支援に従事する職員 「仙台市における障害者差別解消に関する取り組みについて」 【講師】 障害企画課職員 「相談事例を通して考える障害差別に関する相談活動について」 【講師】 朽名社会福祉士事務所代表 朽名 高子 氏	30名

## (8) 障害者差別解消に関する研修講師等派遣

各種団体等における障害者差別解消に関する研修会に講師として職員を派遣している。

	日時	団体等	参加者
1	4月13日(水)	地区民児協会会長研修会	65名
2	5月9日(月)	仙台市聴覚障害者協会	30名
3	5月12日(木)	せんだい男女共同参画財団	52名
4	5月20日(水)	行政評価局(宮城地域さわやか行政サービス推進協議会)	40名
5	5月25日(水)	若林区自立支援協議会研修会	20名
6	5月26日(木)	せんだいメディアテーク	42名
7	6月17日(金)	青葉区自立支援協議会のつどい	90名
8	6月22日(水)	シルバーセンター管理者研修	60名
9	6月25日(土)	盲導犬ユーザーの会研修	20名
10	8月18日(木)	手話通訳者研修	23名
11	8月26日(金)	宮城野区自立支援協議会全体会	70名
12	8月26日(金)	緑仙会	20名
13	9月26日(月)	青葉区生活衛生同業組合協議会 衛生講習会	90名
14	11月23日(水)	博物館等施設ボランティア研修	26名
15	12月8日(木)	法務局人権擁護委員向け研修	18名
16	2月2日(木)	せんだんホスピタル職員研修会	22名

※この他、障害福祉サービスの説明を行う支援学校説明会においても条例等についてお知らせしている。

※障害企画課において対応したものを掲載。

## (9) 障害理解促進に関する広報

障害のある人の困っていることや必要な配慮等をわかりやすくお伝えし、市民や事業者の障害や障害者に対する理解を促進する。

### ○パンフレット「考えてみよう！誰もが暮らしやすいまち」の作成・配布

- ① 発行 平成28年9月末
- ② 作成部数 50,000部
- ③ 配布先 町内会(市政だより10月号の配布に合わせて回覧を依頼)、民生委員児童委員、市民センター等の市民利用施設、障害福祉関係団体、事業者団体等

### ○交通広告の掲出

- ① 掲出期間 平成29年3月1日～3月31日
- ② 掲出先 地下鉄南北線・東西線、市営バス

## (10) 障害理解サポーター事業

市民の障害理解を促進するための啓発プログラムの実施について検討。

28年度は、先進地視察、障害者関係団体等のヒアリングを実施したほか、事業のあり方や当事者ファシリテーター育成に向けた検討のため障害平等研修体験会を実施。

①ヒアリング実施機関

日程	訪問先等
7月29日(金)	障害平等研修フォーラム(障害平等研修)
7月29日(金)	神奈川県障害福祉課、障害者自立支援センター(障害者理解促進研修)
8月2日(火)	仙台市交通局経営企画課(バスちかサポーター)
8月2日(火)	仙台スピーカーズビューロー(偏見是正プログラム)
8月2日(火)	仙台市交通局業務課
8月4日(木)	仙台市ボランティアセンター、青葉区ボランティアセンター(福祉教育)
8月10日(水)	みやぎ生協
8月17日(水)	一番町四丁目商店街

②障害理解のためのプログラム体験会

日時	内容等	参加者
2月2日(木) 福祉プラザ 10階第2研修室	「障害平等研修」体験会 【講師】障害平等研修フォーラム 【対象】障害者相談員、聴覚障害者福祉相談員、 障害者施策推進協議会元臨時委員、各区差別担当相談員、 委託相談支援事業所、市社会福祉協議会 等	29名

3. 庁内体制の整備等

(1) 障害を理由とする差別の解消に関する庁内研修会

日程	研修内容	参加者
4月5日(火) ～8日(金)	新規採用職員研修「障害を理解するために」 対象：H28年度新規採用職員 ・障害を理由とする差別と市職員に求められる対応 ・障害者当事者による講話 ・グループワーク	178名
4月26日(火)	保健福祉行政職員研修 対象：健康福祉局・子供未来局・各区保健福祉センター等のH27 ～28年度に初めて保健福祉行政に携わった職員 ・障害を理由とする差別の解消について	98名
5月24日(火)	精神保健福祉基礎講座 対象：市内の精神保健福祉関係機関に勤務する初任者 ・障害者虐待防止・差別解消について	72名
5月27日(金)	障害保健福祉新任職員研修 対象：市内の障害保健福祉関係機関に勤務する初任者 ・障害を理由とする差別の解消について	56名
10月19日 (水)	障害保健福祉専門職員研修 対象：4公所の理学療法士、作業療法士等 ・障害を理由とする差別の解消について	15名
2月3日(金)	障害を理由とする差別の解消の推進に関する庁内研修会 対象：各局区課長級職員(各1名程度) ・障害平等研修(DET)	32名

## (2) 市が実施する事業に対する手話通訳等の情報保障の実施

平成 28 年 4 月 1 日より施行した仙台市職員対応要領に基づき、仙台市が市民向けに実施する事業等において、手話通訳や要約筆記等による情報保障等の配慮の実施の推進。

No.	月日	事業名	担当課	通訳者
1	6月7日	放課後デイサービス事業所従事者研修会	障害者支援課	手話 2
2	7月4日	仙台市市政記念式典	秘書課	手話 2
3	8月26日	障害者差別解消条例市民向け講演会	宮城野区障害高齢課	手話 2、要約 3
4	9月2日	市営住宅入居者説明会	市営住宅管理課	手話 2
5	10月20日	高速コピー機操作研修	契約課	手話 2
6	10月6日	シンポジウム・障害のある方の地域生活を支える「地域生活拠点等」について考える	障害者支援課	手話 2、要約 3
7	11月2日	障害者雇用促進セミナー	障害者支援課	手話 2
8	11月14日	理容業・美容業衛生講習会	泉区衛生課	手話 2
9	11月21日	理容業・美容業衛生講習会	太白区衛生課	手話 2
10	11月28日	仙台市福祉整備審議会	社会課	手話 1
11	12月1日	障害者雇用促進セミナー	障害者支援課	手話 2
12	12月7日	もりのみやこのふれあいコンサート	文化振興課	手話 2、要約 3
13	2月3日	仙台市バリアフリー推進協議会	交通政策課	手話 2
14	2月7日	障害者雇用促進フォーラム	障害者支援課	手話 2、要約 3
15	2月7日	特定保健指導における情報保障	保険年金課	手話 1
16	2月18日	障害者グループホーム研修会	障害者支援課	手話 3
17	2月25日	英語多読教室 ～実践！英語脳の育て方～	広瀬図書館	手話 2
18	3月12日	仙台防災未来フォーラム 2017	防災環境都市推進室	手話 4、要約 4
19	3月13日	仙台市個人情報セキュリティ研修	情報政策課	要約 2

## (3) 庁内向け広報誌の発行

仙台市職員対応要領に基づいて事務事業にあたり、障害者に対する合理的配慮の提供等に関する具体的な事例紹介を通じて、職員の理解促進を図るための庁内向け広報誌を発行。